

“IT業界”に求められる“IT人材”になる
実践力強化ゼミ

2019 アイテック オープンセミナー



目次

実践力強化ゼミとは	・・・	P2
講座一覧	・・・	P4
注意事項、開催会場	・・・	P5
講座カリキュラム	IT基礎としてのAI活用	・・・ P6
	IoTを活用したイノベーション創出	・・・ P7
	失敗しない要件定義実践	・・・ P8
	ITで求められるロジカルライティング実践	・・・ P9
	失敗しないリスクマネジメント実践	・・・ P10
	演習で身に付けるチームマネジメント実践	・・・ P11
	失敗しないステークホルダーマネジメント実践	・・・ P12
	現場で使えるITサービスマネジメント実践	・・・ P13
	演習で身に付ける非機能要件定義実践	・・・ P14
お申込み方法	・・・	P15
1 社集合研修のご紹介	・・・	P16
講師紹介	・・・	P19
アイテックについて	・・・	P22
会社概要	・・・	P23
お問合せ先	・・・	P24

※PMP®は、プロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc)の商標登録です。
※株式会社アイテックは、R.E.Pとして提供するトレーニングコースに対しPDUを発行することをPMI®によって承認されています。

“IT業界”に求められる“IT人材”



テクノロジーの進化によって、IT技術者自身の
スキルアップやマインドチェンジが重要になっています！

IT人材白書2018（※IPA出版）より

IT企業へのメッセージ

- ・時代の変化に適応し、企業や組織の枠を超えて柔軟に連携することが必要。
- ・新たなスキル、能力をもつIT人材の育成が急務である。
- ・IT人材が共感する明確なビジョンを示し、IT人材の自律的な成長を促せる環境を作りだせ。

ユーザー企業へのメッセージ

- ・ユーザー企業のすべてのIT人材は、IT活用をリードし、高い技術力を持ち、IT戦略パートナーの見極めを行い、企業や組織の枠を超えて新しい価値の提供に寄与するべきである。
- ・Society5.0に対応した価値創造ができるIT人材戦略が重要となる。

- 効率化やコスト削減など、事業基盤に関わるプロジェクトを成功させる力
- AIなど最新技術を活用できる、ゆるがないスキル
- 既存の枠を超えてコミュニケーションをし、IT人材の知見や経験で価値創造する力

がSociety5.0の主役であるIT人材に求められています。

になる！

実践力強化ゼミで

Society5.0 で主役になれる力 = 実践力を磨きます！

実践力
を
育てる！



ビジネス要件を引き出すスキル

マネジメントスキル向上

エンジニア実務スキル

効果のある講座にするために

1. 1day短期集中！
2. 実務経験豊富な講師陣！
3. 体験型のカリキュラム！

さらに、講座受講で **8PDU** が取得可能！
CCRサイクル対策をしながら、常にスキルや能力を磨きましょう！

オープンセミナーだから

少人数でも
受けさせられる！



今必要なスキルを
選んで学べる！



実践力強化ゼミと、同カリキュラム・アレンジしたカリキュラムで
1社集合研修の開催もできます！お気軽にご相談ください。

実践力強化ゼミ 一覧

開催会場: アイテック教育事業本部
(泉岳寺駅から徒歩 1 分)

開催時間: 9:30～18:30

受講費用: 45,000円 (税別)

取得PDU: 8PDU

カテゴリ:

ビジネス要件を
引き出すスキル

マネジメント
スキル向上

エンジニア
実務スキル

開催日	講座タイトル/テーマ/対象者	カテ ゴリ	担当講師/掲載 ページ/PDU	
2019/09/13 (金)	IT基礎としてのAI活用 ～ ディープラーニングとクラウド型AIを体験する ～ 受講対象者: すべてのシステムエンジニア	実務 スキル	小島 琢矢	P6
			8ストラテジック	
2019/09/27 (金)	IoTを活用したイノベーション創出 ～ モノとネットを繋げることで生まれる価値を考える ～ 受講対象者: IoTを用いた新しいサービスに関心ある方	実務 スキル	吉原 幸伸	P7
			3テクニカル 5ストラテジック	
2019/10/11 (金)	失敗しない要件定義実践 ～ プロジェクト成功の要、要件定義を速習 ～ 受講対象者: 上流工程に関わる方、PM、PM志望者	ビジネス 要件	庄司 敏浩	P8
			8テクニカル	
2019/10/25 (金)	ITで求められるロジカルライティング実践 ～ 「正確に・わかりやすく・早く」伝わる文書を作る ～ 受講対象者: 文書を作成するすべてのIT人材	実務 スキル	加藤 大介	P9
			8テクニカル	
2019/11/08 (金)	失敗しないリスクマネジメント実践 ～ 経験や感覚に頼らないリスクヘッジの方法を学ぶ ～ 受講対象者: プロジェクトマネージャ、チームリーダー	マネジ メント	庄司 敏浩	P10
			8テクニカル	
2019/11/22 (金)	演習で身に付けるチームマネジメント実践 ～ チームの活性化と環境の変化に対応できるチームへ導く ～ 受講対象者: 新任の管理職、チームリーダー	マネジ メント	加藤 大介	P11
			8テクニカル	
2019/12/20 (金)	失敗しないステークホルダーマネジメント実践 ～ プロジェクトを成功させる利害関係をロジカルに築く ～ 受講対象者: プロジェクトマネージャ、チームリーダー	マネジ メント	庄司 敏浩	P12
			8リーダーシップ	
2020/01/24 (金)	現場で使えるITサービスマネジメント実践 ～ ITILをサービス運用で実践的に活かす ～ 受講対象者: ITILファンデーション資格、 または同等の知識を有する方	マネジ メント	木村 祐	P13
			6テクニカル 2リーダーシップ	
2020/02/21 (金)	演習で身に付ける非機能要件定義実践 ～ 非機能要件定義で、システムのユーザー不満を解消する ～ 受講対象者: 上流工程を担当するSE、BAを目指す方	ビジネス 要件	山下 真吾	P14
			8テクニカル	

注意事項、開催会場

お申し込みの際の注意事項

1. “アイテックIT技術者実践力強化ゼミ オープン研修”は、従来“アイテック高付加価値IT人材研修”として実施してきたものです。研修名を若干変更している研修もございますので、過去の研修と内容が重複することがございます。
2. 受講票はございません。お申し込みの際に受講受付のメールを送付いたします。（会場にて、出席確認をさせていただきます。）
3. 欠席された際、配布資料がある場合で、お渡しする必要のあるものについては、ご登録のメールアドレス宛に送付させていただくことがございます。郵送は致しませんのであらかじめご了承ください。
4. 学習項目および担当講師は都合により変更となる場合がございます。
5. お客様のご都合で講座を欠席された場合は、受講料の払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
6. PDUの証明書類は、各講座後にご記入いただく、アンケートとの交換になります。途中参加や半日の参加など、指定の時間数のご受講がない場合は、原則、PDUの証明書類の発行ができません。
7. 下記の理由により講座開催を中止させていただく場合がございます。中止の場合には、決定後速やかに、その旨をご連絡いたします。講座中止の場合、受講料に限り全額返金いたします。
 - お申込み人数が所定の最小催行人数に待たない場合（開催日の約2週間前にお知らせいたします。）
 - 災害や、天候の悪化などにより安全に講座を提供できない状況が予測される場合
 - 講師の急病などやむを得ない場合で講座を中止する場合

開催会場のご案内

株式会社アイテック 教育事業本部

〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10
高輪泉岳寺駅前ビル4階

<アクセス>

都営浅草線・京急線「泉岳寺駅」
A3出口（三田寄り）から徒歩1分

ガソリンスタンドのあるビルの4Fです。



IT基礎としてのAI活用

～ ディープラーニングとクラウド型AIを体験する ～

本講座を受けることで、

- ★実際に人工知能を使ったプログラムを作り、システム構築へのイメージが持てます！
- ★人工知能活用例を学び、人工知能活用の具体的な提案イメージが持てます！

受講対象

- すべてのシステムエンジニア

※演習で使用するPCは、会場にてご用意いたします。
※Node-REDの開発経験は必要ありません。

講座概要

人工知能の活用例や機械学習をはじめとした人工知能技術を講義を通じて学びます。
特に重要な技術である深層学習については、実際に学習を実行することによってイメージをつかみます。

さらに、クラウドサービス型の人工知能については、ブロック型の簡易なプログラミング言語でプログラムを作成し、画像認識や翻訳などの簡易な人工知能システム構築を体験します。

人工知能の活用例や体験を通じて、人工知能活用に対して具体的なイメージを持つことができます。



担当講師 小島 琢矢

人工知能、AI、深層学習といったワードはよく耳にしますが、実際にどんなことができるのか、何を解決できるのか、興味はありますか？実際にプログラミングを通して、学んでいきましょう！

抱える課題

- 最新技術を学びたい
- 人工知能を作れるようになりたい
- 人工知能で“何か”したい



講座で期待される効果

- コンサル実績のある講師が最新技術を教えます！
- 実際にプログラミングを覚えられます！
- 人工知能の具体的な提案イメージが持てます！

カリキュラム

オリエンテーション

1. 人工知能概要

人工知能とは

人工知能の歴史、分類

2. 人工知能活用例

・ 言語 ・ 音声、画像

・ 制御、ロボット ・ オフィス業務への活用

3. 人工知能の技術

・ 探索、推論 ・ 知識（エキスパートシステム）

・ 機械学習 ・ 深層学習

（演習）ブラウザによる深層学習体験

4. クラウド人工知能体験

Node-REDによるプログラミング

（演習）画像認識プログラム

（演習）翻訳プログラム

開催日 2019年 9月 13日（金） 9時30分～18時30分

受講費用 45,000円（税別）

場所 アイテック教育事業本部

取得PDU

8 PDU 8PDUストラテジック

IoTを活用したイノベーション創出

～モノとネットを繋げることで生まれる価値を考える～

本講座を受けることで、

- ★IoTを用いたサービスでできること、サービスの組み立ての考え方が理解できます！
- ★IoTを取り巻く、技術的制約、法律的制約の最新情報を理解できます！

受講対象

- IoTを用いた新しいサービスに関心のある方

講座概要

IoTはモノのインターネットと呼ばれます。IoTを活用すると、モノ同士がつながり、全体で協調・連携することができます。ひとつひとつのモノに大きなデータや頭脳を持たせることには限界がありますが、モノにつながった先は無尽蔵のデータ格納場所であり膨大な処理能力を持った頭脳であるインターネットがあります。モノは、繋がることで、モノ単体ではなしえないことを実現できるのです。モノがリアルタイムにつながることで、これまでとは大きく異なるビジネス・モデルを実現してくれます。この研修ではIoTを活用したビジネスモデルについて演習を通じて考えていきます。



担当講師 吉原 幸伸

人工知能、AI、深層学習といったワードはよく耳にしますが、実際にどんなことができるのか、何を解決できるのか、興味はありますか？実際にプログラミングを通して、学んでいきましょう！

抱える課題

- 技術を活用した事業企画をしたい
- 最新技術を学びたい
- IoTで“何か”したい



講座で期待される効果

- 事業アイデアのまとめ方がわかります！
- 現場経験豊富な講師が最新技術を教えます！
- IoTで何ができるか具体的な事業案が持てます！

カリキュラム

オリエンテーション

1. IoTの基礎知識

現状既に行われているIoTの導入・利活用の例を通じて、IoTをユーザー目線でどのように活用できるか、その効果はなにかについて学びます。

(個人演習) 自分の関わる事業について整理する

(グループ) 自分の関わる事業について発表する

2. IoTの技術・関連法制度

IoTに関わる最新技術と遵守すべき関連法制度について学びます。特に繋ぐ技術と繋がれる側の要素技術について学びます。

3. IoTを活用した新規事業の創出

IoTの導入の進め方と、新規事業創出の考え方とツールについて学びます。ワークシートを使いながら、アイデアを整理する方法を学び、演習を通じて事業のかたちを整えていきます。

(個人演習) ビジネス課題を洗い出す

(グループ) 各々の課題の解決策を話し合う

開催日 2019年 9月 27日 (金) 9時30分～18時30分

受講費用 45,000円 (税別)

場所 アイテック教育事業本部

取得PDU

8 PDU 3PDUテクニカル
5PDUストラテジック

失敗しない要件定義実践

～プロジェクト成功の要、要件定義を速習～

本講座を受けることで、

- ★要件定義のステップを整理し、実務で使えるレベルでノウハウが身に付きます！
- ★要件定義のために必要なニーズの引き出し方から、要件の妥当性検証方法まで習得！

受講対象

- ・ 上流工程の実務に携わる方
- ・ プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー、それらを目指す方

講座概要

国内のソフトウェア開発プロジェクトの成功率は約50%と言われています。

プロジェクトを成功させるために重要となるのが要件定義。本講座では、顧客から要求を引き出す方法などを、講義と実践的なワークショップで学びます。

上流工程を成功させたいソフトウェア開発者にオススメの講座です。

担当講師 庄司 敏浩



多数のプロジェクトマネジメントの経験から、プロジェクトを成功に導くための要件定義のノウハウをぎゅっとまとめて伝授します。たった1日でプロジェクト成功率を向上させましょう！

カリキュラム

オリエンテーション

1. 要件定義の位置付けとポイント
2. 要求の引き出しと体系化

(演習) 要求の引き出しと体系化

3. 要求の検証と妥当性確認

(演習) 要求の研修

(演習) 要求の妥当性確認

4. 要件定義書作成のポイント

■受講生の声

・当初の目的としては、要件定義書のポイントを知りたかったのですが、今日のお話を伺ってその前の段階でしっかり要件をまとめておくのが重要だということが良く分かりました。

■講師への評価

知識が豊富で、
解説がわかりやすかった！
に、非常にそう思うと回答

75%

※2018年実施講座アンケートより

抱える課題

- 顧客の要件が引き出せない
- 要件定義に時間がかかっている
- 要件定義の実施範囲が曖昧なまま



講座で期待される効果

- 顧客から要件を引き出す方法を身に付けます！
- ステップを整理し、効率化させます！
- なにをしたらいいのか、ノウハウを伝授！

開催日	2019年 10月 11日 (金)	9時30分～18時30分	
受講費用	45,000円 (税別)	取得PDU	8PDU 8PDUテクニカル
場所	アイテック教育事業本部		

ITで求められるロジカルライティング実践

～「正確に・わかりやすく・早く」伝わる文書を作る～

本講座を受けることで、

- ★文書作成の苦手意識を、「自分でも文書作成ができるぞ！」という意識に変えます！
- ★読み手を意識し、確実に意図が伝わる文書を、早く簡潔にまとめられるようになります！

受講対象

- 文書を作成するすべてのIT人材
- とくに文書作成に苦手意識のある方
- 顧客向けに文書を作成する方

講座概要

文書作成に必要なことは、伝えるべきことを明確にすることと、それをわかりやすく構成することです。

徹底した文書作成トレーニング方式により、自分のよい点、苦手な点、改善すべき点を明確にし、文書作成スキルの向上を図ります。

演習成果物は受講者同士での相互評価のほか、講師からできるだけフィードバックを行います。また解答例においては、なぜこのように書くべきか、納得のいく解説をします。



担当講師 加藤 大介

文書作成に苦手意識があると、なかなか筆が進まず、益々ライティングへの苦手意識が強まってしまいます。講座で苦手意識を払拭しましょう！ロジカル思考を学ぶと口頭での説明も上達します。

抱える課題

- 文書作成が苦手、嫌いだ
- 文書がわかりにくいといわれる
- 文書作成に時間がかかりすぎてる



講座で期待される効果

- 苦手意識を払拭し、文書作成スキルが向上！
- ロジカル思考を取り入れ「伝わる」文書に！
- 簡潔に書けるようになり文書作成が効率化！

カリキュラム

- はじめに
 - わかりやすく質の高い文章を作成するために
 - (演習) ロジックツリー作成
 - (演習) 要旨要約
- 文書作成上の注意事項とロジカル思考
 - 文書作成での注意点、ロジカル思考とは
 - (演習) メール文書作成
- 文書作成演習
 - (演習) 文書構成
 - (演習) 社外への依頼文書
 - (演習) 報告書作成①(わかりやすく構造化)
- 文書構成を考えるポイント
 - (演習) 報告書作成②(構造化と自己所見)
 - (演習) 図表化

開催日	2019年 10月 25日 (金)	9時30分～18時30分
受講費用	45,000円 (税別)	取得PDU 8PDU 8PDUテクニカル
場所	アイテック教育事業本部	

失敗しないリスクマネジメント実践

～ 経験や感覚に頼らないリスクヘッジの方法を学ぶ ～

本講座を受けることで、

★トラブルが発生する前にリスク予防措置を行えるようになります！

★リスクを意識して、プロジェクトを成功させるために必要な行動がとれるようになります

受講対象

- ・ プロジェクトマネージャ
- ・ チームリーダー

講座概要

多くのメンバーが関わるITプロジェクトでは、様々なリスクが潜んでいます。システムの仕様、顧客との調整、メンバー間のコミュニケーション。経験や感覚に頼りがちなマネジメントでは、目先の仕事に集中している間に、違う場所で問題が発生しています。

本講座では、リスクが発生する兆候に着目し、リスクを顕在化させないための予防的措置を学びます。リスクの特定と対策について、実践的なワークショップを行うことで、リスクのコントロールが出来るリーダーを目指します。



担当講師 庄司 敏浩

いつもトラブル対応に追われているいませんか？
問題が起きてから対応するのではなく、事前にリスクへ対処すること。それだけで、あなたのプロジェクトは好調に進みます。

カリキュラム

オリエンテーション

1. リスクとリスクマネジメント

2. リスクの特定

(演習) リスクの特定

3. リスクの分析

(演習) 発生確率と影響度分析

4. リスク対応策

(演習) リスク対応策の策定

5. リスクの監視

(演習) リスク兆候の発見

トラブル対応に追われているなら、
リスクマネジメントを学ぼう！



抱える課題

- プロジェクトの成功率が低い
- トラブル対応に時間がかかる
- リスクマネジメントを学びたい



講座で期待される効果

- プロジェクト成功に必要な行動を学びます！
- リスク段階で予防ができるようになります！
- 講師のノウハウが実践的演習で身に付きます！

開催日 2019年 11月 8日 (金) 9時30分～18時30分

受講費用 45,000円 (税別)

場所 アイテック教育事業本部

取得PDU

8PDU 8PDUテクニカル

演習で身に付けるチームマネジメント実践

～ チームの活性化と環境の変化に対応できるチームへ導く ～

本講座を受けることで、

★チームメンバーの育成方法、動機付けの方法、業務運営スキルが身に付きます！

★演習により、単なるリーダー論の習得ではなく、自分で考えたリーダー像が持てます！

受講対象

- ・ 新任の管理職
- ・ チームリーダー

講座概要

チームをマネジメントする担当としての立場や役割を認識することを目的としています。講座ではマネジメントの基本である次の三点を中心に学習を進めます。

1. 部門方針の具体化に必要な思考であるシステム思考
2. 仕事の管理（業務のPDCAを回すこと）
3. 人の管理（部下育成・動機付け）としてのピープルマネジメント

講義中心ではなく、事例演習やグループワークをとおりて自分で考え、自分で結論を導き出す演習です。また、チームが担当するプロジェクトもマネジメントできるよう、PMBOK®をベースにしたプロジェクトマネジメントの基礎的な事項も学習します。



担当講師 加藤 大介

マネージャやリーダーと、メンバーの役割は大きく異なります。マネジメントの役割を理解して、チームでの業務効率の最大化を目指しましょう！

カリキュラム

1. はじめに
チームリーダーに求められる能力
2. チームをマネジメントするとは
求められるスタンスと確実な業務遂行のポイント
(演習) 自己の指向性・価値観
3. プロジェクトをマネジメントするとは
プロジェクトマネジメントとは何か
(演習) プロジェクトを成功させるために必要なこと
(演習) 効果的なブレインストーミングの方法
4. チーム運営のポイント
(期待される役割と業務的職能)
チーム運営の基本について
(演習) 管理の5機能
(ケース討議) 「組織と個人の問題の洗い出し」
問題解決行動のポイント
5. 部下育成とコミュニケーションのポイント
(演習) モチベーションの動機要因
動機付け理論（メンバーのモチベーション向上）
6. まとめ（個人振り返り・行動計画作り）

抱える課題

- リーダーを育てられない
- チームの業務効率が悪い
- チームの雰囲気が重い



講座で期待される効果

- 役割を理解したリーダーに育てます！
- チームの業務管理方法を学び、効率を上げます！
- ピープルマネジメントで職場が活性化します！

開催日	2019年 11月 22日（金）	9時30分～18時30分	
受講費用	45,000円（税別）	取得PDU	8PDU 8PDUテクニカル
場所	アイテック教育事業本部		

失敗しないステークホルダーマネジメント実践 ～プロジェクトを成功させる利害関係をロジカルに築く～

本講座を受けることで、

- ★受託したプロジェクト成功のために、リスクを意識した利害関係調整が可能に！
- ★ステークホルダーマネジメントに関する貴重なノウハウが1日で身に付きます！

受講対象

- ・ プロジェクトマネージャ
- ・ チームリーダー

講座概要

本講座では、システム開発側とユーザー側、両方の立場でプロジェクトマネジメントを実践してきた講師の経験をバックボーンに、実務で活用できるステークホルダーマネジメントを1日で習得します。

顧客からの無茶ぶりや、部門同士の対立など、プロジェクトマネジメントの障壁となるステークホルダー(利害関係者)の問題を、ロジカルに解決へと導くことが出来る講座です。

担当講師 庄司 敏浩



組織の意見対立、ユーザーの朝令暮改、受け身なメンバー。プロジェクトに関わる利害関係者の問題を解決するには高いコミュニケーション能力が必要だなんて思っていませんか？私が28年間のプロジェクトマネジメント経験で培ったノウハウとロジックを伝授します。

カリキュラム

オリエンテーション

1. プロジェクトのリスク

(演習) リスクの特定

2. ステークホルダーの特定とステークホルダーのニーズの把握

(演習) ステークホルダーの特定とステークホルダーにまつわるリスク

3. ステークホルダー・マネジメント

(演習) ステークホルダー・マネジメント戦略

顧客も、
上司も、メンバーも、
別の部署の同僚も、
問題だらけ...

プロジェクトは
どこに向かうのか



抱える課題

- 組織の意見が原因で上手く進まない
- ユーザーの意見が二転三転する
- メンバーから意見がでない



講座で期待される効果

- 組織間のコンセンサスがまとまります！
- ユーザーが最終的にやりたいことを明確に！
- 消極的になる原因を解決し活性化します！

開催日	2019年 12月 20日 (金)	9時30分～18時30分	
受講費用	45,000円 (税別)	取得PDU	8PDU 8PDUリーダーシップ
場所	アイテック教育事業本部		

現場で使えるITサービスマネジメント実践

～ ITILをサービス運用で実践的に活かす ～

本講座を受けることで、

★ITILファンデーションの知識を業務に活かせるようになります！

★ITILを活かすことで、サービス運用の効率化がはかれます！

受講対象

- ・ ITILファンデーション資格をお持ちの方、または同等の知識を有する方
- ・ ITILの基本用語を理解している方

講座概要

中上級者向けであるITILインターミディエイト研修のカリキュラムを整理し、講師が厳選したポイントを絞り込んだサービスオペレーション(サービス運用)を演習を交えながら学びます。

- ・ サービス運用業務の中核をなす運用サポートおよび分析を学ぶ
- ・ 運用に役立つサービスオペレーションの主要プロセス(イベント管理、インシデント管理、問題管理)の知識を習得する
- ・ グループワークで、実務に活かせる実践力を習得する

実務で使えるITIL知識を習得するので、ITIL資格を保有している方も、これから取得する方にもオススメの講座です。



担当講師 木村 祐

ITILの資格対策ではなく、実務で使えるITILをお教えします。ITILファンデーションは取得したが、どう業務にいかせばいいかわからない方、一緒に活かし方を考えましょう。

抱える課題

- ITILに則った対応がしたい
- サービス利用者の満足度が低い
- 運用で問題がたくさんでる



講座で期待される効果

- ITILに則ることで変化への対応力がつきます
- 利用者の満足度があがります
- 継続的な改善をはかることができます

カリキュラム

1. サービスマネジメントの原則
2. イベント管理
3. インシデント管理
4. 問題管理

【演習例】

インシデントの優先度

重大なインシデント対応手順

イベント管理、インシデント管理、問題管理

■ ITILとは

・ ITシステムの運用や保守を効率的に管理・実践していくための業務ノウハウをまとめたベストプラクティス(成功事例)を書籍にまとめたものです。

・ 現在は、世界各国で情報システムフレームワークの事実上の水準となっており、世界的業界標準としての地位を確立しています。

開催日 2020年 1月 24日 (金) 9時30分～18時30分

受講費用 45,000円 (税別)

場所 アイテック教育事業本部

取得PDU

8 PDU 6PDUテクニカル
2PDUリーダーシップ

演習で身に付ける非機能要件定義実践

～非機能要件定義で、システムのユーザー不満を解消する～

本講座を受けることで、

- ★非機能要求グレードに基づく非機能要件の分析と仕様化を、実務で使えるようになります
- ★システム要件定義時に押さえておくべき、信頼性や性能の勘所が分かります！

受講対象

- ・ 上流工程を担当するシステムエンジニア
- ・ ビジネスアナリストを目指す方

講座概要

本講座では、非機能要件を分析し、顧客に対して説明できる応用力を学びます。講義で基礎理論を学んだ後に、「非機能要求グレード」を用いた実践的なワークショップを行います。品質や制約といった非機能要件に関する顧客ニーズを引き出すことができず、「非機能要件をどのように提案すれば良いか分からない」と思っている方にオススメの講座です。

※非機能要求グレードとは
ユーザーの視点で非機能要求を抽出し、評価観点を決めることが出来るツールです。要求項目を可視化できるので、ユーザーと開発者との認識を、誤解無く、漏らさず、早めに合わせることが出来ます。



担当講師 山下 真吾

システム運用後に発生しがちな、性能や信頼性に関するトラブル。非機能要件をきちんと定義することができれば、システム開発後の手戻りが減少します。

抱える課題

- 非機能要件の定義法が分からない
- 漏れ・曖昧さに気が付かない
- 開発後に品質の問題で手戻りする



講座で期待される効果

- 「非機能要求グレード」を使って定義できます！
- チェックリストで漏れ・曖昧さをなくします！
- 品質（信頼性・性能）の押さえ所が分かります！

カリキュラム

オリエンテーション

1. 非機能要求

非機能要求とは？

システム概要

品質要求

制約

非機能要求の抽出・分析技法

2. 基礎理論

信頼性の基礎理論

性能の基礎理論

3. 非機能要求の分析と仕様化

「非機能要求グレード」とは？

「非機能要求グレード」の利用方法

非機能要求グレードの活用例

非機能要求の分析方法

非機能要求の仕様化方法

4. ケーススタディ

開催日 2020年 2月 21日（金） 9時30分～18時30分

受講費用 45,000円（税別）

場所 アイテック教育事業本部

取得PDU

8PDU 8PDUテクニカル

オフラインでのお申込み

メールでのやり取りでご購入いただけます。

弊社担当営業へお問合せください。法人営業部：03-6824-9007

弊社担当営業より申込書をメールにてお送りします。

Excel表の申込書と名簿に必要事項を入力ください。

申込書のExcelデータをメールにてご返信いただいた後、
印刷した申込書に社印押印の上、PDFにてお送りください。

社内受注後、ご請求書を発行いたします。

オンライン（法人専用ECサイト）でのお申込み

法人会員に登録いただきますと、
貴社価格でのご注文が簡単・迅速にできる「法人限定のECサイト」をご利用いただけます。

※2019年度実践力強化ゼミのEC販売開始は2019年3月を予定しております。

■ 法人会員登録のメリット

- ・ 見積書の出力や、見積書からのご購入が可能です。
- ・ 過去の購入履歴がご参照いただけます。
- ・ 一度請求・納入先などをご登録いただけますと、繰り返しご利用いただけます。
- ・ 受講者情報を一括登録できるCSVアップロード機能が掲載されております。
- ・ お申込毎に必要な社印の押印が不要です。
- ・ 3,000円以上（税込み）ご購入の場合、送料無料。

弊社担当営業へお問合せください。法人営業部：03-6824-9007

法人会員申請書（Excel）をメールにてお送りします。
必要事項の入力後、社印押印の上ご返送ください。

貴社用専用のコードを発行いたします。

ログインし貴社コードを設定の上、
アイテックストア (<https://www.itec.co.jp/store/>) よりご注文ください。

銀行振込、クレジットカード決済がご利用いただけます。

初
回
の
み

アイテックで 1 社集合研修 をしませんか？

アイテックは、**1983年**に**情報処理技術者試験対策**を行う会社としてスタートしました。

その後、「**人間力を企業力に**」をスローガンに、**プログラミング ～ ヒューマン研修**と教育の幅を広げていき、現在はIT人材育成に必要な研修を幅広い分野で実施しております。

オリジナルテスト制作や、研修後の**フォローメール**対応なども実施し、貴社の**課題を解決できる研修**を提案いたしますので、是非、弊社営業担当までお悩みをご相談ください！



TEL: 03-6824-9007

E-Mail: hojin@itec.co.jp

よくお聞きする課題と、実施研修例

1位

生産性向上



- ・ タイムマネジメント研修
- ・ 段取り力研修
- ・ チーム効率化研修
- ・ 役割別の会議術研修

2位

マネジメント力



- ・ 要件定義実践
- ・ リスクマネジメント
- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ ハラスメント防止

3位

顧客ビジネス理解



- ・ ビジネスアナリシス実践
- ・ 非機能要件定義実践
- ・ 会計の基礎研修

4位：営業力強化

- ・ SEのための提案力強化実践
- ・ アサーティブ研修
- ・ プレゼンストーリー研修
- ・ ロジカルコミュニケーション

5位：ダイバーシティ&シニア

- ・ 女性活躍推進研修
- ・ グローバルコミュニケーション
- ・ シニア向けワークライフバランス
- ・ シニア向け後進の指導、育成

6位：セルフモチベーション

- ・ レジリエンス（折れない心）研修
- ・ キャリアデザイン研修
- ・ セルフコーチング研修

7位：業界動向理解

- ・ 人工知能活用
- ・ IoT活用

「管理職向けハラスメント研修」

抱えていた課題

- ✓ グレーゾーンな慣習がある
- ✓ 若手が離職しやすい
- ✓ 適切な知識不足



研修目的

- ✓ 思い込みや慣習を払拭し、正しいハラスメント知識を得る
- ✓ 若手の離職原因の削減
- ✓ 演習を通し体感して学ぶ

カリキュラム (概略)

1. ハラスメントとは？
職場の3大ハラスメント
どういったときにグレーゾーン？
2. 安心安全な職場環境を作る
信頼される行動、不信感生まれる行動
メンバーのタイプ別対応法 (演習) タイプ別取扱説明書づくり
3. ハラスメント、部下育成の課題を解決する
(演習) グレーゾーンのさばき方

■ 研修フォロー

事前にチームへハラスメント系の課題アンケートを実施、演習に実事例として取り込む。

■ 受講者感想

- ・セクハラやパワハラの定義はある程度分かっていたつもりだったが、人を納得させられるようになった事は貴重だった。
- ・グレーゾーンに関して、職場でも不安・疑問に思うところがあったのですが、判断基準が分かりました。関係性向上に努めます。

「プロジェクトマネージャ向け コミュニケーション研修」

抱えていた課題

- ✓ マネジメントスキル向上
- ✓ PM職のコミュニケーション能力の向上
- ✓ チームの関係性を円滑にしたい



研修目的

- ✓ マネジメントの基本の再確認
- ✓ 実践的なコミュニケーションスキルとマネジメント力の修得
- ✓ 成功するチームをつくる

カリキュラム (概略)

1. SEマネージャの仕事
2. プロジェクトマネジメント
3. ステークホルダーマネジメント
4. コミュニケーション基礎
5. コミュニケーション基本スキル
6. 論理的思考
7. コミュニケーションマネジメント
8. チームマネジメント

■ 研修フォロー

受講直後と2か月後に行動チェックテストを実施し、研修で得たスキルを実践できるようなフォローを行う。

■ 受講者感想

- ・自社側の体制だけでなく、顧客側の体制も提案する必要がある事を知った。具体的な体験談を教えてもらったので貴重なものとなった。
- ・コミュニケーションの取り方について、演習で不足していることや改善点が分かったので、業務で活かして行きたい。また、同じ立場の方と会話する事で色々参考になる意見を聞いて良かった。

「ビジネスアナリシス基礎実践 講座」

抱えていた課題

- ✓ 自社の各業務担当者に、ビジネスアナリシスについて興味をもたせたい
- ✓ BABOK®を学んでほしい
- ✓ 自らBAによる分析ができる社員を増やしたい



研修目的

- ✓ ビジネスアナリシスがどんな場面に使えるか実例を多く紹介
- ✓ 演習を通して、各自の業務で使える分析手法を身に付ける

■ 受講者感想

- ・ビジネスアナリシスの実務上の活かし方を理解することが出来ました。現状の自社製品開発に向けた分析に活用出来そうです。
- ・本領域の業務を直接担当したことはないが、現在の業務ではどうなるだろうとマッピングしながら聴かせてもらい、ユーザーへ次にこんな提案してみようというアイデアも出て来た。
- ・仕事を進めて行く上での分析について、営業視点でも活かせる部分があったと思う。今後の営業活動の一助にしたい。

カリキュラム (概略)

1. システム開発における課題とビジネスアナリシス
2. BABOK®の概要
(演習) 自分の業務におけるビジネスアナリシス
3. BABOK®の知識エリアの解説
(演習) ステークホルダー分析、ビジネスモデル分析、引き出し手法の活用、要求アナリシスとデザイン定義、ソリューション評価、要求のライフサイクルマネジメント

■ 研修フォロー

概要講座受講者から希望制で、応用編、実践編へステップアップした講座を展開。最終的に、高度なビジネスアナリシス知識を提案活動に取り込めるようになった。

「内定者向け 基本情報技術者 午前試験対策 3 回講座」

抱えていた課題

- ✓ 基本情報技術者合格率低い
- ✓ 課題をやりきる習慣づけをしたい
- ✓ 目標合格率 80%



研修目的・成果

- ✓ 午前免除修了試験 合格率80%を達成！
- ✓ わからない問題をそのままにしないよう習慣づけを目指す

■ 受講者感想

- ・データベースの分野に苦手意識を持っていましたが不明点が分かるようになりました。
- ・オブジェクト指向のクラスの説明が非常に分かりやすかったです。
- ・自分自身で予習していたものの、未だに理解が出来ていない問題もあったので、今日のセミナーを通して解けるようになって良かったです。

カリキュラム (概略)

- | |
|------------------------------------|
| 第1回 |
| IT基礎理論、コンピュータ構成要素、システム構成要素 |
| 第2回 |
| テクノロジー（ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズム）、問題演習 |
| 第3回 |
| テクノロジー（データベース）、システム開発、マネジメント、ストラテジ |

■ 研修フォロー

第3回目にこれまでの知識範囲のミニテストを実施。わからなかった問題についてグループ内で教えあうよう指導。

担当講師： 加藤 大介（かとう だいすけ）

■プロフィール

- ・ 報道会社にて記者職、独立系システム企業、独立系SI企業を経て金融機関系シンクタンクにて開発プロジェクトに従事。
- ・ Web系（Java）開発プロジェクトでPMを担当。
- ・ 自身が持つシステム設計・開発やクライアント折衝経験を基にした要件定義技法やプロジェクトマネジメント技法、チームマネジメント技法に多くの実績を持つ。
- ・ 単なる技術追求やプログラミング技術ではなく、自分の経験から得たことを生きた事例として教材としている。
- ・ 新聞記者であった経験から、広い視野やユニークな経験がバックグラウンドとしての強みである。とくに文書作成技法は、独自のノウハウと分かりやすさで多くのお客様から好評価をいただいている。



■保有資格

システム監査技術者、プロジェクトマネージャ、ISO9000審査員補、JSTQBテスト技術者、PMP®

■研修実績

SEのためのプロジェクトマネジメント、SEのためのチームマネジメント、要件定義技法、文書作成技法、情報試験対策（論文対策）、PMP®試験対策 など

■著書

- ・ 高度専門 システム開発技術(アイテック)
- ・ 徹底解説 本試験問題 基本情報技術者(アイテック) 共著

担当講座 ITで求められるロジカルライティング実践
演習で身に付けるチームマネジメント実践

P9
P11

担当講師： 木村祐（きむら たすく）

■プロフィール

- ・ 大手電機メーカーにて生産管理業務に従事。
- ・ ベンチャー育成支援企業にてビル型ISP事業の立上げ。
- ・ ベンチャー系システムマネジメント企業にてシステム監視、運用ビジネスの立上げを手掛ける。
- ・ 大手電機メーカー情報システム企業で情報インフラサービスを担当する傍ら、ITIL推進プロジェクトのリーダーとしてデータセンタ再構築に取り組む。
- ・ 外資系教育会社ITILのインストラクタとして、エキスパート・インターミディエイトなどの上位コース及び講師向けのトレーニングを担当。



■保有資格

ITIL V2 Manager、ITIL V3 Expert、PMP®

■研修実績

ITサービスマネジメント講座（移行／運用）

■著書

- ・ ITIL教科書(アイテック)、高度専門ITサービスマネジメント(アイテック) 共著

担当講座 現場で使えるITサービスマネジメント実践

P13

担当講師： 小島 琢矢（こじま たくや）

■プロフィール

- ・ 東京大学大学院 総合文化研究科広域科学専攻 博士課程修了。博士（学術）。専攻は人工知能（機械学習）、認知科学。
- ・ NTTコミュニケーション科学基礎研究所にて、人工知能・機械学習、認知科学の研究に従事。国際会議で招待講演やパネラーなどをつとめる。
- ・ NTTコミュニケーションズにて、通信ネットワークの設計、ネットワークサービス企画に従事。また、経営企画部にて、全社サービス戦略の立案に従事。
- ・ 中小企業診断士として、中小企業の診断・経営支援にあたる。現在はデータ分析、機械学習、IoT、人工知能関連の研修やコンサルティングを多数実施。
- ・ 具体例が豊富な講義で難しいことをわかりやすく説明することを得意としお客様からも評価いただいている。



■保有資格

ネットワークスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、中小企業診断士、PMP®

■研修実績

人工知能体験、Excelによるデータ分析、Rを用いたデータ分析、IoT体験 など

■著書

- ・ ブルー・オーシャン戦略実現シート―戦わずして勝つ「最新・最強の戦略」

担当講座	IT基礎としてのAI活用	P6
------	--------------	----

担当講師： 庄司 敏浩（しょうじ としひろ）

■プロフィール

- ・ システム開発に係る経験年数28年、研修講師経験年数14年のベテラン講師。
- ・ IBMで約15年間、社内システム構築、官公庁情報系システム構築、e-ビジネスシステム構築をSE、PMとして実践。
- ・ 2001年にITコーディネータとして独立後は、流通業・サービス業、金融業を中心に、情報システムの利用・活用に関するアドバイス、ベンダ選定支援、情報セキュリティマネジメントの導入等の業務を実践。
- ・ ITコーディネータとして発注者側の支援を実務として行い、かつ、研修も実施していることから、実務面での具体的なアドバイスに定評がある。



■保有資格

CBAP®、PMP®、ITストラテジスト、情報処理安全確保支援士

■研修実績

大手IT系、及び中小IT系企業、自治体(総務省主催の府省共通情報システム統一研修、旧業務システム最適化ガイドライン策定活動、CIO補佐官養成講座、金融庁、年金機構)など多数

■著書

- ・ PMP®試験合格虎の巻 第6版対応（アイテック） 共著
- ・ プロジェクトマネージャ「専門知識+午後問題」の重点対策（アイテック）

担当講座	失敗しない要件定義実践	P8
	失敗しないリスクマネジメント実践	P10
	失敗しないステークホルダーマネジメント実践	P12

担当講師： 山下 真吾（やました しんご）

■プロフィール

- ・ 独立系ソフトウェアベンダ等にてシステム開発、ネットワーク設計運用などの業務を10年程経験し、2001年に独立起業。
- ・ 「魚を与えるより、魚の釣り方を教えよ」をモットーに、表面的な知識に留まらない「考え方」を教える。
- ・ 現在は、AIを活用したシステム開発に携わりつつ、講師業、執筆業、コンサルティング業に従事。
- ・ 実務で得た専門知識の深さを生かした分かりやすい解説に定評がある。



■保有資格

技術士(情報工学)、システムアーキテクト、データベーススペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、情報セキュリティスペシャリスト、他多数

■研修実績

情報処理技術者試験対策（ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト）、データベース設計、オブジェクト指向設計、要求定義技法（機能要求、非機能要求）、システム基盤アーキテクチャ設計、ネットワーク設計・運用、サイジング技法

担当講座 演習で身に付ける非機能要件定義実践

P14

担当講師： 吉原 幸伸（よしはら ゆきのぶ）

■プロフィール

- ・ 日本デジタルイクイップメント株式会社（日本DEC：現存続会社ヒューレット・パッカードエンタープライズ社）の社内教育部門にて、社内の人材育成に従事する。
- ・ その後スピンアウトして、Schick Technologies（ニューヨーク）にて各種デバイスやアプリの開発に従事する。帰国後はサンマイクロシステムズ社からの委託で、Developerリレーション部門にてJava開発者向けの支援を行う。
- ・ 上記と並行して各種教育にも従事する。特に大手通信インフラ会社、大手SIer、大手Webメディアの人材育成には、新人・旧人向け問わず、長期間リピートを頂いている。
- ・ 各種メディア系のWebに強く、現時点でも大手Webメディア、大手出版社のWebとスマートデバイスを中心としたメディア展開のプロデューサー兼開発マネージャとして従事している。
- ・ 同時に大手WebメディアではSRE（Site Reliability Engineering）として、大規模Webサービスの需要予測やインシデント予測にAIを活用したシステムを用いて対処、AIに関する知見を深めている。



■開発実績

[エンベッドシステム] 六自由度顔運動解析装置トライメット、ccd方式 x 線画像解析装置CDR、咬合圧測定器オクルーザー
 [メインストリーム] ポータル構築ツール、ネットワーク監視ソフト、サービス管理ソフトウェア、資産管理システム
 [Webシステム] ホテル予約管理システム、各種企業サイト構築

■研修実績

大手Web企業新人研修（プロデューサー職・開発職向け）、大手Web企業向けスマートデバイス開発研修、大手Web企業向けWeb開発研修（Java/PHP）、大手Web企業向けHTML/CSS研修、大手コンピューターメーカー向け各種開発研修、大手コンピューターメーカー、大手通信インフラ会社、大手SIer向けプロジェクト管理研修、大手SIer向けアジャイル開発研修

担当講座 IoTを活用したイノベーション創出

P7

ITECの使命は 「企業利益に貢献するための人材・教育ビジネス」の実現です。



● IT人材の育成を通じて社会の発展に貢献する

● IT人材育成で35年以上の実績、150名以上の契約講師陣

培ったノウハウと講師人脈で、幅広い教育分野に対応いたします。

● 約8,000団体 延べ受講者90万人以上の教育実績

複数の学習スタイルで、ライフスタイルに適した学習環境を提供いたします。

● 年平均1600回以上のセミナーを開催、受講者満足度88%！

多彩な教育分野で、毎年数多くのセミナーを開催しております。

アイテックの教育事業は、これからの社会を担うIT人材の育成を通じて社会の発展に貢献します。
1983年に国内の民間事業者として初めて情報処理技術者向けの国家試験「情報処理技術者試験」のための教育サービスを開始しました。以来、この分野でのトップランナーとして試験対策通信講座の提供、テキストの出版を事業の核としつつ、技術知識、マネジメント、ヒューマンスキルへと教育分野を拡大し、IT人材育成をトータルにサポートする専門事業者として、企業利益を人材教育面から支援しております。

● 多彩な教育分野でIT人材育成をトータルコーディネート

知識教育

- ・情報処理技術者試験対策
- ・PMBOK®
- ・ITIL
- ・LPIC
- ・アジャイル開発
- ・マーケティング/セールス
- ・ビジネスリテラシー 他

ヒューマンスキル

- ・コミュニケーション
- ・プレゼンテーション
- ・リーダーシップ
- ・エンプロイアビリティ

組織教育

- ・コンプライアンス
- ・個人情報保護
- ・マネージメント 他

IT人材のトータルコーディネート

※1…2017年4月～2018年3月 自社集計概算値、延べ開催日数

※2…2017年4月～2018年3月 自社書式アンケートより「大変満足・満足」と回答した割合、小数点以下切り上げ

会社概要

■商号	株式会社アイテック			
■沿革	旧株式会社クリエイティブソリューションズ		旧株式会社アイテック	
	2005年 6月	フォーバルグループのHR事業を担うべく創業	1983年 5月	「株式会社情報処理技術者教育センター」を設立
	2008年 2月	業務拡大のため、オフィスを渋谷に移転	1991年 1月	「株式会社アイテック」へ商号変更
	2010年 11月	アジア人材紹介事業を開始	2013年 10月	「株式会社フォーバル（東証一部上場、証券コード「8275」）」の連結子会社となる
	2018年 4月	株式会社クリエイティブソリューションズと株式会社アイテックが合併し、株式会社アイテックとなる		
■資本金	80,000,000円			
■取締役	代表取締役社長		加納 敏行	
	取締役副社長 教育事業本部長		土元 克則	
	取締役 人材事業本部長		澤田 朗	
	取締役 管理本部長		久保田 善之	
	取締役(非常勤)		加藤 康二	
	取締役(非常勤)		行 辰哉	
■事業概要	通信教育事業、書籍の出版・販売事業、企業向け社員研修事業 ITエンジニアの派遣事業 東南アジアにおける現地幹部候補・留学生の人材紹介			
■所在地	・ 本社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-17-5 シオノギ渋谷ビル11階 人材事業本部 TEL：03-6825-5301 FAX：03-3797-3704			
	・ 教育事業本部 〒108-0074 東京都港区高輪2-18-10 高輪泉岳寺駅前ビル4階 TEL：03-6824-9010 FAX：03-5795-0231			
	・ 教育事業本部 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル15階 西日本支社 TEL：06-6535-7420 FAX：06-6535-7421			

■主要取引先

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ アマゾンジャパン合同会社・ アイコムシステック株式会社・ I I B A日本支部・ インフォメーションサービスフォース株式会社・ 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社・ N E Cマネジメントパートナー株式会社・ S C S K株式会社・ N T Tラーニングシステムズ株式会社・ M S & A Dシステムズ株式会社・ N E Cネットエスアイ株式会社・ 株式会社NHKメディアテクノロジー・ 株式会社N T Tデータユニバーシティ・ 株式会社N T Tデータ アイ・ N E Cソリューションイノベータ株式会社・ 株式会社N T Tドコモ・ 株式会社大阪屋栗田・ 株式会社O K Iソフトウェア・ 関西電力株式会社・ 一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会・ 株式会社クレスコ・ K D D I 株式会社・ 国税庁・ N T Tコムウェア株式会社・ 株式会社さくらケーシーエス・ 株式会社J R東日本情報システム・ J R Aシステムサービス株式会社・ S k y株式会社・ 住友林業情報システム株式会社・ ソフトバンク株式会社・ 株式会社大和総研・ T I S株式会社・ T I Sソリューションリンク株式会社 | <ul style="list-style-type: none">・ 株式会社トーハン・ 東芝テックソリューションサービス株式会社・ 株式会社東邦システムサイエンス・ 東京海上日動システムズ株式会社・ 東芝インフォメーションシステムズ株式会社・ 日本出版販売株式会社・ 株式会社西村書店・ 株式会社日本ウィルテックソリューション・ 日本政策金融公庫・ 日本アイ・ピー・エム株式会社・ 株式会社日本総合研究所・ 株式会社日本マンパワー・ ニッセイ情報テクノロジー株式会社・ 日本電気通信システム株式会社・ 株式会社日立インフォメーションアカデミー・ 株式会社日立ハイシステム21・ 株式会社日立産業制御ソリューションズ・ 東日本電信電話株式会社・ 株式会社富士通ラーニングメディア・ 株式会社フォーバル・ 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所・ 防衛省 航空幕僚監部・ みずほ情報総研株式会社・ 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社・ 三菱電機コントロールソフトウェア株式会社・ 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会・ 株式会社村田製作所・ 株式会社ラック・ 株式会社リクルートテクノロジーズ・ リコーITソリューションズ株式会社・ ワールドビジネスセンター株式会社 |
|--|--|
- 等（50音順・敬称略）

お問合せ先

アイテック公式HP

アイテックホームページ

IT資格についての情報や、各種教材の詳細をご案内いたします。

<https://www.itec.co.jp>



アイテックストア

法人会員登録で、法人向け購入機能がお使いいただけます。

<https://www.itec.co.jp/store/>



お問合せ

【サービスデスク】

<https://www.itec.co.jp/contact/>

または

TEL:03-6824-9001

(担当：サービスデスク 月～金（祝祭日除く）：10:00～17:00)



【法人営業部 直通】

TEL:03-6824-9007

メール: hojin@itec.co.jp

公式SNS



twitter

どこよりも早くアイテックの新商品や情報処理の最新情報をお届けします。
https://twitter.com/ITEC_shikaku



facebook

一人一人のキャリアビジョンを実現させるために一緒に考え、悩み、共に成長していける、そんなコミュニティを目指します。
<https://www.facebook.com/ITEC.Community>



アイテック通信

<https://www.itec.co.jp/webform/mailmagazine>

